



ORIX Group Eco Service Guide

オリックスグループ
エコサービスのご案内

オリックスグループがご提供するエコサービス

エネルギービジネス ◯P.05



発電（再生可能エネルギー） ◯P.05

メガソーラー

バイオマス発電

屋根設置型太陽光発電

地熱発電

太陽光発電システム販売

風力発電

再生可能エネルギー電力の買取

資源・廃棄物ビジネス ◯P.13



廃棄物高度処理施設
(ガス化改質炉)

金属系廃棄物処理施設

広域リサイクルシステム

その他エコサービス ◯P.15

自動車の環境配慮型トータルサービス

- レンタカー・カーシェアリング (EV・HV)
- メンテナンスサービス
- テレマティクスサービス「e-テレマ」
- 中古車リース・販売

環境関連機器のレンタル

グリーン電力証書の販売

レンタル機器販売・中古機器買取

カーボン・オフセット
カーボン・クレジット

再生可能エネルギー関連機器の
試験受託サービス

環境配慮型融資の保証

低炭素機器導入サポート
(エコリース)

環境配慮型不動産事業 ◯P.17

物流施設

オリックス劇場

オフィスビル

京セラドーム大阪

マンション

ゴルフ場

水族館

オリックスグループのエコ活動 ◯P.18

沖縄サンゴ礁再生プロジェクト
SANGO ORIX

えのすいECO

ホテルの食品リサイクル



エネルギービジネス
▶ P.05



資源・廃棄物ビジネス
▶ P.13



その他エコサービス
▶ P.15



環境配慮型不動産事業
▶ P.17



オリックスグループのエコ活動
▶ P.18

電力供給 ▶ P.08

電力小売

電力一括購入サービス

省エネルギー ▶ P.09

ESCO サービス

デマンドレスポンスサービス
「はっとわっと」

電力の見える化・自動制御サービス

ESCO ファンド

蓄電 ▶ P.11

蓄電システムレンタルサービス

海外 ▶ P.12

フィリピンの発電事業会社
「GBPC」に資本参加

米国のエネルギーサービス会社
「Enovity」を買収

PICK UP

太陽光発電の実績

再生可能エネルギーが注目を浴びるなか、オリックスグループは、「メガソーラー」において2013年3月期から3年間で合計最大出力300MWの発電所の開発を、「屋根設置型太陽光発電」においては合計最大出力100MWの設置を目指し、着実に開発を進めています。また、「太陽光発電システム販売」においては、2013年3月期で合計92MWの販売実績を有し、引き続きお客さまのニーズに合わせて円滑な発電システムの導入を支援していきます。



メガソーラー

日本全国で **28** 力所

最大出力 **143.2** MW



屋根設置型太陽光発電

日本全国で **49** 力所

最大出力 **27.2** MW

2013年6月28日現在

年間予想総発電量は18,566万kWh

一般家庭約51,600世帯分の年間電力消費量に相当

※1世帯あたり3,600kWh/年で試算。 出典:電気事業連合会「電力事情について」

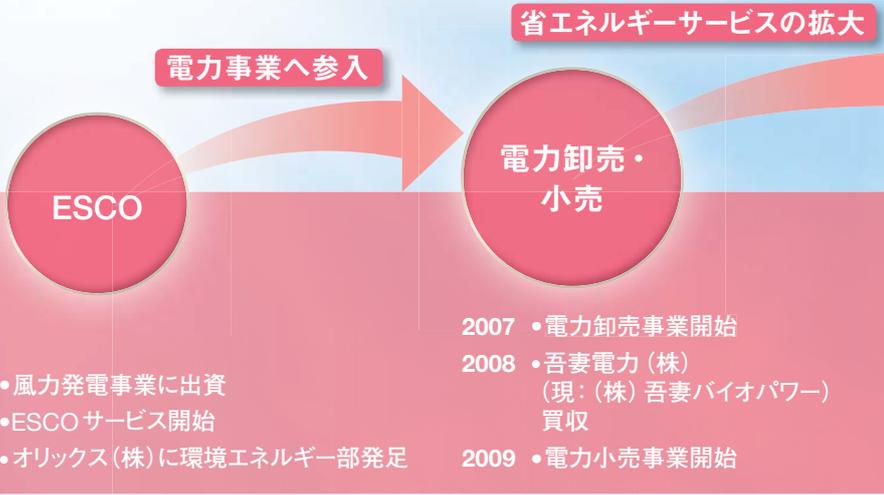
環境エネルギービジネスの歩みと展開

～リースを起点に隣へ、さらにその隣の事業領域へ～

オリックスは、1964年に創業して以来、リース事業からスタートして隣接分野に次々と進出し、さまざまな専門性を獲得することにより、事業を進化させてきました。環境エネルギー分野においても、1995年の風力発電事業への出資を皮切りに、廃棄物処理や省エネルギーサービス、電力供給、再生可能エネルギーによる発電、金属資源事業など、幅広く展開しています。

エネルギー分野

リース+コンサルティング機能から派生



リース

国内外の動き

1995 • 電気事業制度改革 (卸売自由化)

1995 ~

2000 ~

1997 • 京都議定書採択
 • 廃棄物処理法改正による規制強化
 1998 • 地球温暖化対策推進法制定

2002 • RPS法 (新エネ等電気利用法) 制定
 2005 • 日本卸電力取引所開設

2000 • 循環型社会形成推進基本法制定
 2002 • 自動車リサイクル法制定
 2005 • 京都議定書発効
 • 自主参加型国内排出量取引制度創設

1998 • オリックス環境 (株) 設立

2002 • オリックス資源循環 (株) 設立
 2003 • 広域リサイクルシステム開始

環境分野

自社リース終了物件の適正処理から派生

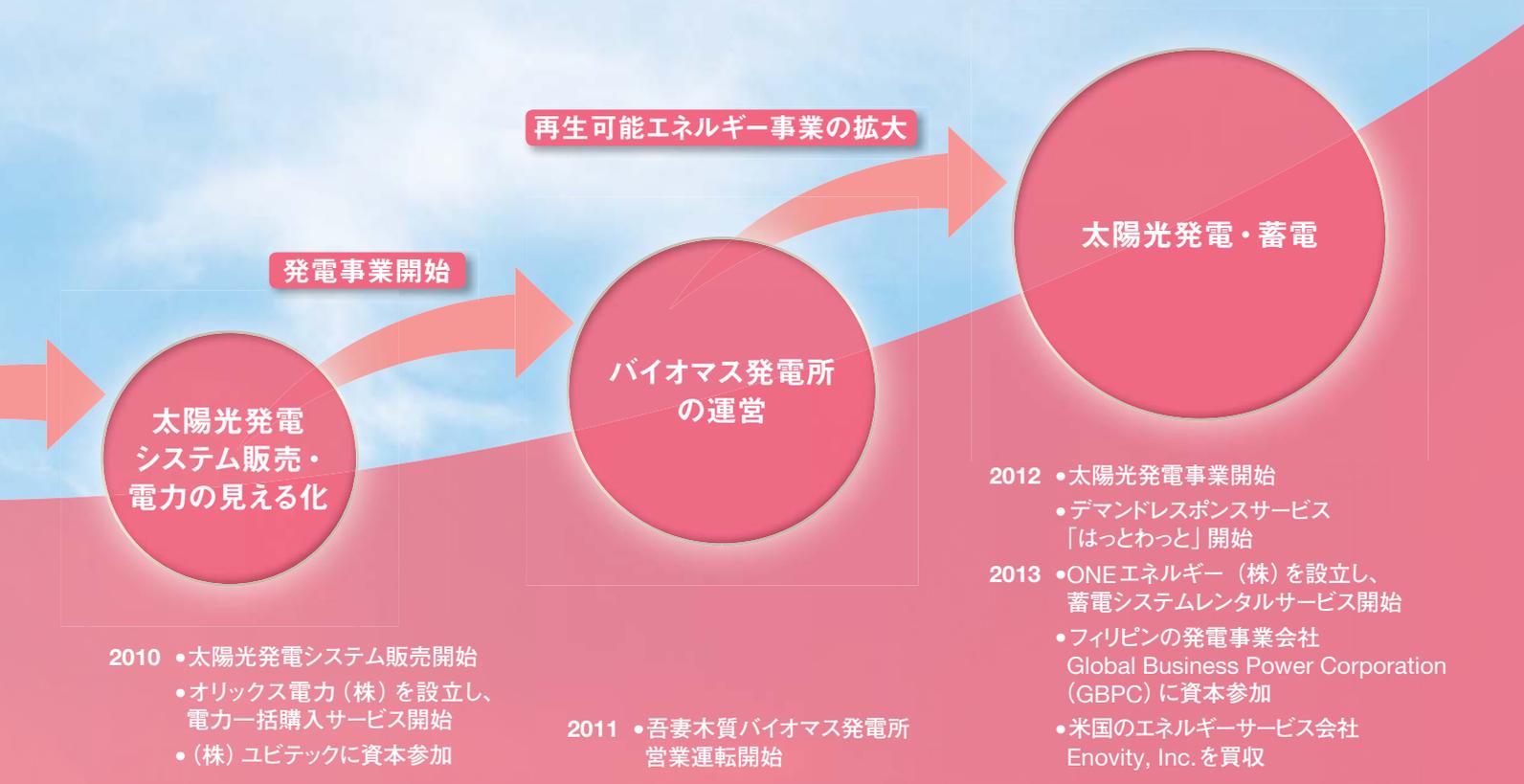


環境方針

オリックスグループは、お客さまや社会のニーズを捉え、ビジネスを通じて環境・エネルギー問題の解決に貢献します。また、事業領域の拡大・成長による変化を踏まえ、これに適った対応を進めます。

活動目標

1. お客さまと社会の環境・エネルギー課題の解決に寄与する、新たなエコサービスのご提供に努めます。
2. 事業活動が環境へ及ぼす影響を把握し、環境関連法規の遵守と環境負荷低減に努めます。
3. 各事業の特性を踏まえた環境対応がなされるよう、社員の意識と知識の向上に努めます。
4. 法令等で要求される情報開示事項や環境への取組状況について、適切な情報提供に努めます。



2009 • 太陽光発電の余剰電力買取制度開始

2011 • 再生可能エネルギー特別措置法成立

2012 • 再生可能エネルギー固定価格買取制度開始

2010 ~

2008 • 京都議定書第一約束期間開始

2010 • 改正省エネ法施行
 • 改正地球温暖化対策推進法施行
 • 改正東京都環境確保条例施行
 • 生物多様性条約締約国会議(COP10)開催

2012 • 国連持続可能な開発会議(リオ+20)開催
 • 京都議定書第一約束期間終了
 • 地球温暖化対策税導入

2013 • 小型家電リサイクル法施行

2006 • オリックス資源循環(株)寄居工場稼働開始

2008 • 兼松環境(株)を買収し、船橋環境(株)に社名変更(現:オリックス環境(株))
 • カーボン・オフセットサービス開始

2010 • 中国科学院と戦略提携

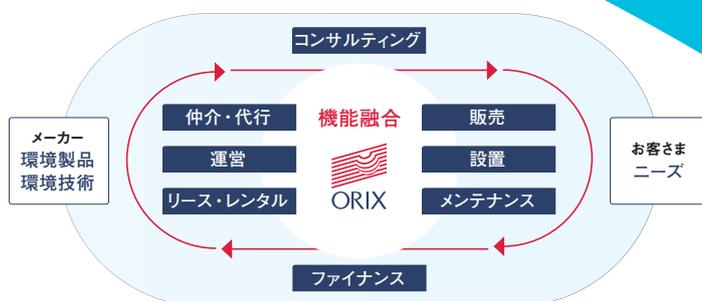
2011 • 中国の水道施設運営会社、中国水務集团有限公司に資本参加
 • インドネシア・ベトナムでJICAの水関連事業に関するPPP調査受託
 • 金属資源事業開始

2013 • オリックス環境(株)と船橋環境(株)が合併



エコサービスインテグレーターとして

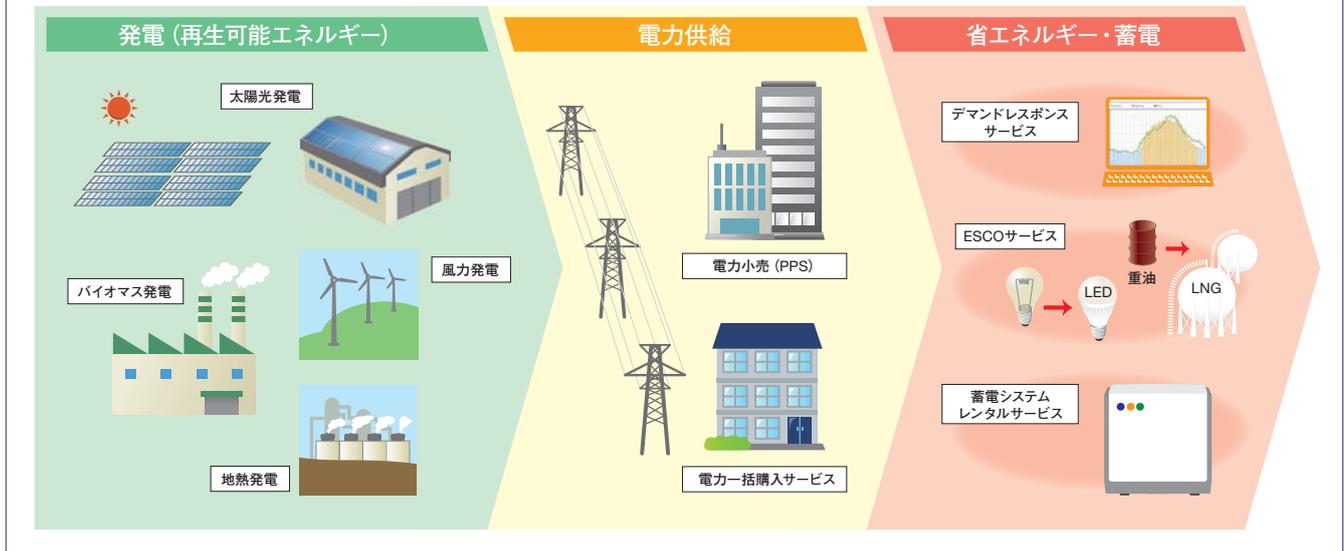
オリックスグループは、お客さまの環境関連製品や環境技術、エネルギーに関するニーズに応じて、エコサービスインテグレーターとしてさまざまな機能を総合的にご提供します。



エネルギービジネス

再生可能エネルギーによる発電や割安な電力の供給、省エネルギーサービスなど、エネルギーの川上から川下までさまざまな分野において、お客さまのニーズにお応えします。

オリックスグループのエネルギービジネス展開



発電

(再生可能エネルギー)

太陽光やバイオマス、地熱、風力などの再生可能エネルギーの普及に貢献します。

メガソーラー

オリックス株式会社
株式会社キューコーリース

自治体や企業の遊休地を活用した大規模太陽光発電

自治体や企業などが保有する全国の遊休地を賃借し、最大出力1,000kW (1MW) 以上の大規模な太陽光発電所 (メガソーラー) の建設を進めています。

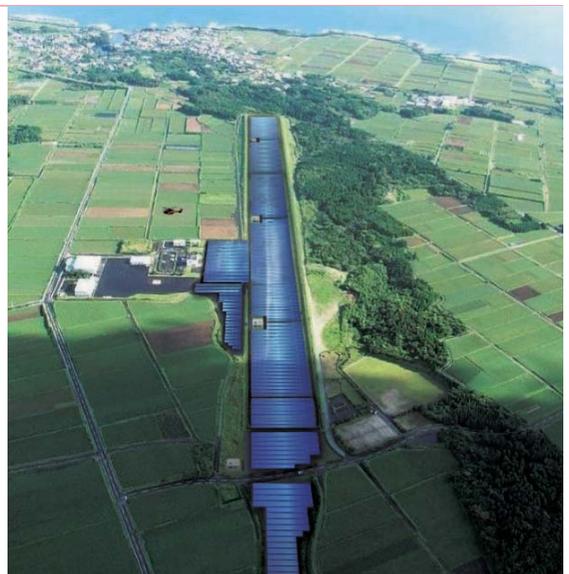
事例紹介 全国初、空港跡地を利用したメガソーラーを建設

鹿児島県枕崎市 様

枕崎市は、空港の管理・運営におけるこれまでの歳出超過累計額や今後の財政および市民への負担を考慮して、枕崎空港を廃止し、メガソーラー用地として貸し出すことを決定しました。

現在、オリックスと株式会社九電工は、枕崎空港の跡地に最大出力8,218kW (8.2MW) のメガソーラーの建設を共同で進めています (2014年9月完成予定)。両社は、地域への貢献として、空港ターミナルビルを活用した見学スペースや太陽光発電の仕組みを学ぶ環境学習スペース、天文観測所の設置、見学者送迎用車両の提供なども併せて計画しています。

完成イメージ





屋根設置型 太陽光発電

オリックス株式会社
株式会社キューコーリース

お客様の工場などの屋根を活用した太陽光発電

お客様が保有する工場や倉庫など大型施設の屋根を賃借し、太陽光発電システムを設置する屋根借り方式の太陽光発電事業を推進しています。遊休地だけでなく、お客様の施設を最大限活用することで効率的な発電を実現します。一方、お客様は、資産を有効に活用できることに加え、太陽光パネルの遮熱効果による施設内空調の効率改善や屋根の経年劣化の抑制というメリットがあります。また、オリックスグループで保有する商業施設などの屋根を活用した事業も展開しています。

事例紹介 全国の物流施設18物件の屋根を賃借

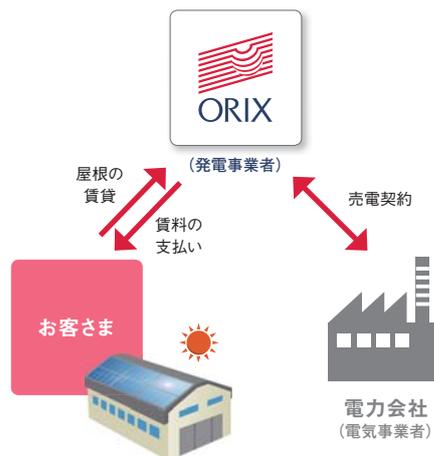


関東西濃運輸(株) 太田支店

セイノーホールディングス株式会社 様

セイノーホールディングス(岐阜県大垣市)のグループ各社の営業所や物流センターなど合計18カ所の屋根を賃借し、最大出力5,614kW(5.6MW)の太陽光発電事業を実施しています。年間予想総発電量は約559万kWhで、一般家庭約1,600世帯分*の年間電力消費量に相当します。強固で平屋根を有する建物の特性が太陽光発電事業に適しており、環境に配慮した取り組みという観点からご賛同いただきました。

*1世帯あたり3,600kWh/年で試算。出典:電気事業連合会「電力事情について」

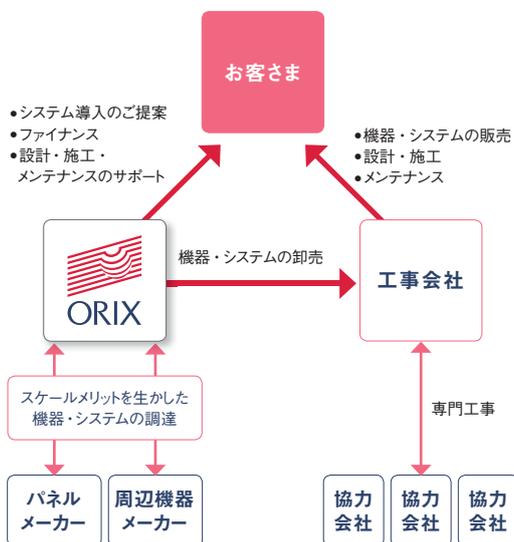


太陽光発電 システム販売

オリックス株式会社

機器の選定から資金調達、設置、メンテナンスに至るまで お客様の発電事業をトータルで支援

メーカーからの機器の直接仕入れや全国の工事会社とのネットワークによるスケールメリットを生かし、割安な価格でお客様のシステム投資をサポートします。オリックスは、複数メーカーからの機器選定やリース、割賦、立替払、レンタルなどお客様に合わせた調達方法や固定価格買取制度の設備認定取得サポートなど、設置から導入後のメンテナンスまでをワンストップでご提供し、お客様の円滑なシステム導入を支援します。



事例紹介 物流センターの屋根を有効活用した発電事業

株式会社あらた様

日用品卸売大手のあらた(千葉県船橋市)向けに最大出力877kWの太陽光発電システムを販売し、物流センター2カ所に設置しました。これにより年間88万kWhの電力を電力会社に売電する見込みです。お客様自身の環境取り組みのPRにもつながるため、そのほかの物流センターにおいても、引き続き導入の可能性を検討していただく予定です。



(株)あらた 神奈川センター



吾妻木質バイオマス発電所

バイオマス 発 電

株式会社吾妻バイオパワー

木質チップを活用したバイオマス発電

群馬県で木質チップ専焼発電の「吾妻木質バイオマス発電所」を運営しています。木質チップ専焼発電は、木質チップ燃料をボイラで燃焼させ、その蒸気熱でタービンを回転させて発電する仕組みです。化石燃料の代替としてバイオマスである木質チップを燃料にすることで、CO₂排出量の低減につながるだけでなく、サーマルリサイクル^{*1}技術の活用により、環境に配慮した発電事業を実現します。最大出力は13,600kW (13.6MW)、年間送電量は9,200万kWh^{*2}で、一般家庭に換算すると約25,600世帯分^{*3}の年間電力消費量に相当します。

*1 廃棄物を単に焼却処理するだけでなく、焼却の際に発生するエネルギーを回収・利用すること。

*2 2012年度送電実績。

*3 1世帯あたり3,600kWh/年で試算。 出典：電気事業連合会「電力事情について」

地熱発電

オリックス株式会社

地熱エネルギーを活用した発電

「杉乃井ホテル」(オリックス不動産運営)は、自家用では国内最大級の規模となる、地熱を利用した「杉乃井地熱発電所」を所有・運営しています。最大出力は1,900kW (1.9MW)で、発電した電力はホテル全般の電気設備で使用し、ピーク時の使用電力の1/3を賅っています。

オリックスは、温泉旅館の運営と杉乃井ホテルでの地熱発電ノウハウを生かし、他の温泉地でも地熱発電の事業化と地域の活性化策を検討していきます。



杉乃井地熱発電所

風力発電

オリックス株式会社

4事業、合計34機の風力発電事業に出資しています。最大出力は合計35,950kW (35.9MW)です。



秋田新屋ウインドファーム

- | | |
|----------------|----------------|
| ● 秋田新屋ウインドファーム | 6,800kW (秋田県) |
| ● たちかわウインドファーム | 3,200kW (山形県) |
| ● 五島岐宿風力発電研究所 | 1,200kW (長崎県) |
| ● 仁賀保高原風力発電所 | 24,750kW (秋田県) |

再生可能 エネルギー 電力の買取

オリックス株式会社

お客さまが再生可能エネルギーにより発電した電力を、法令で定められた買取価格にプレミアムを付加して買い取ります。買い取った電力は、電力小売事業を通じてお客さまへご提供します。

電力供給

割安な電力供給サービスを通じて、お客さまの電力コストの低減に貢献します。

電力小売

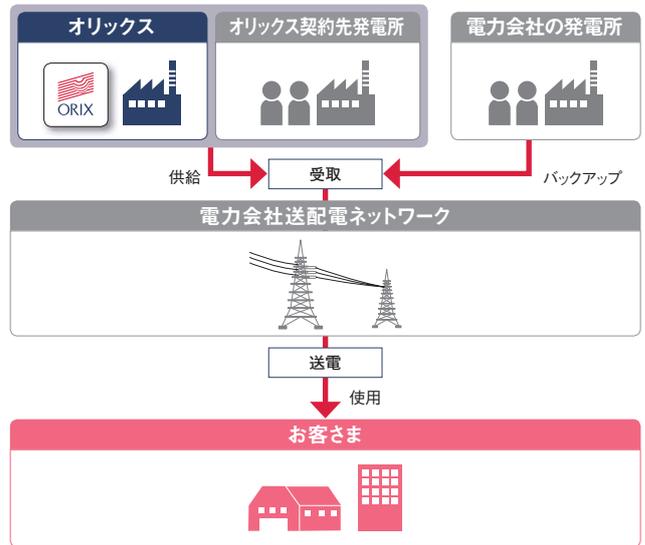
オリックス株式会社

新電力として事業者向けに割安な電力を供給

新電力 (PPS)*として、東京電力、関西電力、中国電力の送電エリア内で、主に民間の高圧業務用の施設・事業

所を対象に、割安な電力を供給します。

*新電力とは、特定規模電気事業者のこと。契約電力が50kW以上の需要家に対して、電力会社などの一般電気事業者が持つ送電線を通じて電力を供給。PPSとは、Power Producer and Supplierの略。



電力一括購入サービス

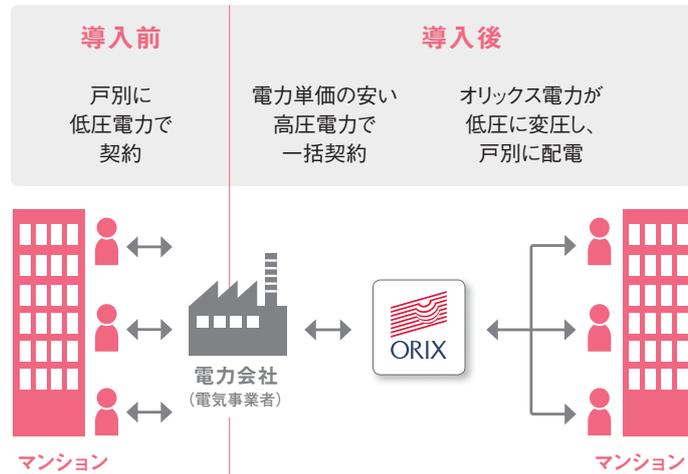
オリックス電力株式会社

電力一括購入サービスを通じてマンションのスマート化を実現

割安な高圧電力を電力会社から一括受電し、マンションに居住するお客さまに低圧に変圧し配電することで、電気利用料金を削減するサービスを新築・既築マンション向けにご提供します。

また、オリックス電力は経済産業省が推進する「平成24年度スマートマンション導入加速化推進事業費補助金」に係るMEMS*アグリゲータの採択を受けており、2013年9月以降にサービスを導入する全てのマンションを対象に、エネルギー使用の効率化と無理のない節電を図るサービス「EneVista」をご提供します。スマートメータを無償で設置することで、30分ごとの電力使用量をインターネットを通じて見える化し、電力会社の時間帯別メニューへの対応や、電力不足時に節電を促すための節電ポイントサービスを展開しています。

* Mansion Energy Management System の略。



「EneVista」お客さま専用ページイメージ

省エネルギー

ESCOや電力の見える化などのサービスを通じて、お客さまの省エネルギー化とコスト削減に貢献します。

ESCOサービス

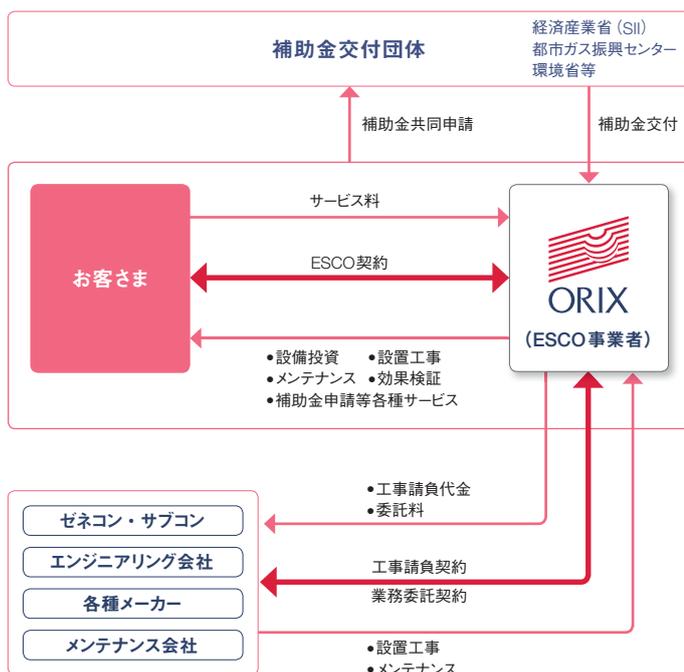
オリックス株式会社

工場、倉庫、商業店舗、ホテルなど物件用途に応じたESCOメニューをご提案

ESCO*は、建物の省エネルギーに関する包括的なサービスをご提供することにより、これまでの利用環境を損なうことなく省エネルギーを実現するサービスです。省エネルギー機器の設置やメンテナンス、効果検証に関わる費用などは、ESCOサービスによるエネルギーコストの削減分で賄われるため、省エネルギーとコスト削減を同時に実現できる手法として多くの企業や自治体が導入しています。

オリックスは、お客さまのエネルギー使用状況を把握するエネルギー診断を行い、省エネルギー手法の提案から実施に至るまでトータルサービスをご提供します。工場、倉庫、商業店舗、ホテルなどさまざまな物件用途に対応し、特定のメーカーに限らず、お客さまにとって最適な機器・アイテムを選定し、導入後の維持管理から省エネルギーの効果検証、運用コンサルティングまで、継続したサポートを行います。

* Energy Service Company の略。



事例紹介 本社工場のCO₂排出量を2007年度比20%削減(燃料転換事業)

持田製薬工場株式会社 様

持田製薬工場(栃木県大田原市)の本社工場向けに、LNG(液化天然ガス) サテライトタンクを導入し、工場で使用する燃料をA重油から環境負荷の低いLNGに切り替えました。本社工場はグループ全体のエネルギー使用量の60%を占めており、CO₂排出量の削減対策が最も必要な拠点でした。今回のボイラ燃料の転換により、2007年度比で20%のCO₂排出量の削減を実現しています。なお、本事業は環境省の補助事業の採択を受けています。



本社工場に導入したLNGサテライトタンク

事例紹介 コージェネレーションシステムの導入によりエネルギーを有効活用(分散型発電事業)

日本化薬株式会社 様

日本化薬(東京都千代田区)の高崎工場向けに、昼間電力のピークカットや省エネルギー対策のため、電力と熱を同時に供給するコージェネレーションシステムを導入しました。ガスエンジンを用いて発電することに加え、その際に発生した排熱を蒸気や温水として回収しエネルギーの有効活用を図っています。BCP対策のほか、電力会社から購入する電力量の削減やCO₂排出量の削減にもつながっています。



高崎工場に導入したコージェネレーションシステム

デマンドレスポンスサービス「はっとわっと」

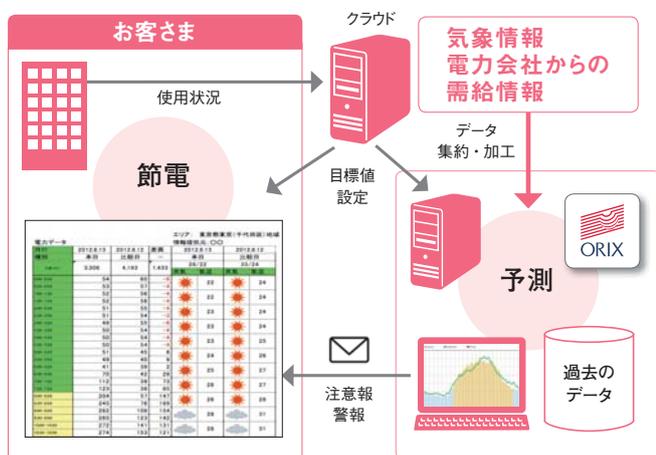
オリックス株式会社

最大需要電力の抑制（ピークカット）や電力使用量の削減をサポート

「はっとわっと」は、お客さまの最大需要電力の抑制（ピークカット）や電力使用量の削減を支援するサービスです。オリックスは、お客さまの過去の電力使用実績をもとに、電気需給契約や節電行動の見直しなど、最適な節電プランをご提案します。また、お客さまの電力使用量や気象情報を30分ごとにウェブサイト上で表示するほか、過去の電力使用傾向と気象情報から翌日の電力使用量を予測し、計画値を超える予測の際には注意報を、実際に計画値を超過しそうな場合には警報をメールでお知らせします。

本サービスに必要な機器や通信費はオリックスが負担し、節電によって得られたコスト削減分をお客さまとシェア（分配）します。節電ニーズがありながらBEMS*の普及が進んでいない100kW～500kWの需要家のお客さまにも、初期投資の負担をすることなくご利用いただけるサービスです。

* Building Energy Management Systemの略。



事例紹介 オフィスビルへの導入

三菱製紙販売株式会社様

三菱製紙販売（東京都中央区）本社ビル向けに、「はっとわっと」を導入しました。オリックスは、削減目標値の設定や天候などを考慮した電力使用予測情報の提供、節電行動のアドバイスを行います。三菱製紙販売は、電力の使用状況をウェブサイト上でリアルタイムに把握しながら、節電注意報・節電警報に対し、節電を最適に行います。



三菱製紙販売（株）本社ビル

電力の見える化・自動制御サービス

株式会社ユビテック

電力使用量の見える化から自動制御までを可能にする省エネルギーソリューション

「BE GREEN Next (旧 UGS)」は、電力使用量の見える化から自動制御までを可能にする省エネルギーサービスです。ITシステムとオフィスの照明・空調・監視設備などの設備機器を連携させ、電力使用量の見える化だけでなく、お客さまが設定した電力使用量の上限値を超えた場合は自動で照明・空調を停止するなどの自動制御機能を備えています。

ESCO ファンド

オリックス株式会社

地域金融機関と連携し、環境配慮型の設備投資に用途を限定した金融スキームをご提案

ESCO ファンドは、環境配慮型の設備投資を対象を限定した金融スキームです。オリックスはESCO サービスなどのノウハウと、地域金融機関の地元に着目した情報網との組み合わせにより、お客さまの資金ニーズにお応えします。滋賀銀行、紀陽銀行、福岡銀行などの地域金融機関と提携し、地域経済の活性化と地域社会のCO₂排出量の削減に貢献します。

蓄電

再生可能エネルギーの活用など多様な電源の開発が進むなか、「電気を上手に貯めて賢く使う」新しいライフスタイルの実現に貢献します。

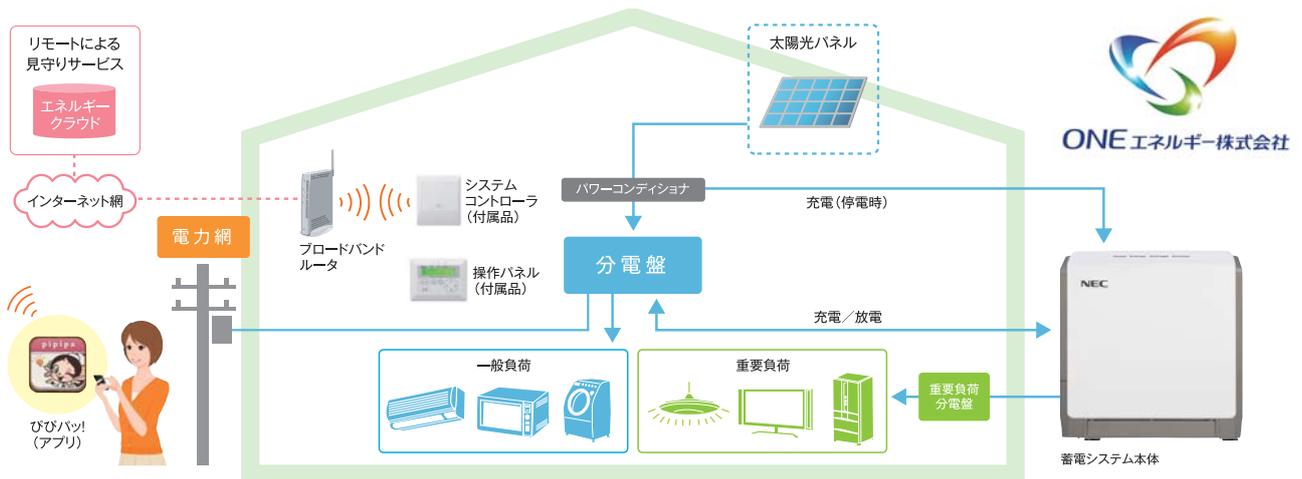
蓄電システム
レンタル
サービス

ONEエネルギー株式会社

一般家庭向け定置用蓄電システムレンタルによるエネルギーサービス

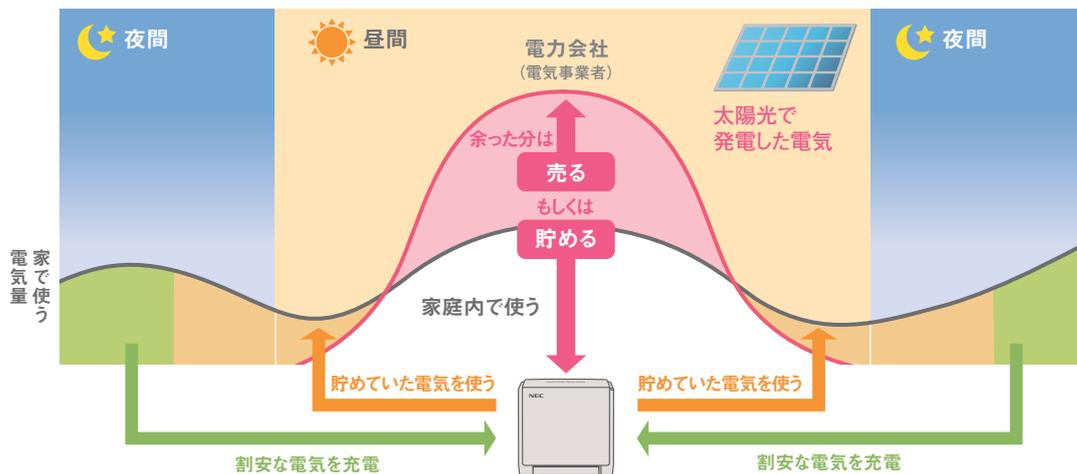
オリックスおよび日本電気株式会社 (NEC)、株式会社エプコが共同で設立したONEエネルギーは、蓄電池レンタルとスマートハウス向けアプリケーションを組み合わせた家庭向けエネルギーサービスを展開しています。一般家庭（一戸建て）向けにNEC製の定置用蓄電池（容量：5.53kWh）とエプコが開発したスマートハウス向けアプリケーション「びびパッ!」をクラウドデータ連携により組み合わせ、システム一式をレンタルでご提供する国内初*のエネルギーサービスです。災害発生時の非常用電源を確保するだけでなく、電力の見える化と最適な電力使用方法のご提供により、電力使用量の削減や昼間の最大需要電力の抑制（ピークカット）にも貢献します。

* 2013年4月25日現在、株式会社SVPジャパン調べ。家庭向け定置用蓄電池の場合。



さらに、太陽光発電システムと蓄電システムの併用により、発電した電気の余剰分を貯める、もしくは売ることが可能になります。余剰電力を貯める場合、電力会社から購入する電力量を減らし、家庭内の自給自足を目指します。また、貯めずに売る場合でも、ダブル発電*にならないため、無駄なくお得に売電することができます。

* 太陽光発電と家庭用燃料電池や蓄電池を組み合わせ、より多くの電力を売ることができるダブル発電は、太陽光発電だけの場合より低い固定買取価格が設定されている。



海外

日本で培った環境エネルギー事業のノウハウを生かし、特に高い需要が見込まれるアジアなどの新興国において付加価値の高いサービスをご提供します。

フィリピンの発電事業会社「GBPC」に資本参加

大手商業銀行 Metrobank グループとエネルギー関連事業について戦略提携

フィリピンの発電事業会社「Global Business Power Corporation (GBPC)」の株式20%を Metrobank グループより譲り受けるとともに、Metrobank グループとフィリピンでエネルギー関連事業を共同推進することで戦略提携しました。

GBPCは、フィリピン中部のセブ島やパナイ島が位置するビサヤ地域を基盤とする発電事業会社です。石炭火力発電を中心にIPP(独立系発電事業者)として総設備持分容量627MW、合計9カ所の発電所を所有・運営し、主に同地域のベース電源を担っています。また、フィリピンでは人口増加や経済の発展により電力の需要が拡大しているため、新規電源の開発も進めています。オリックスは、GBPCの事業拡大を支援していくとともに、国内で培ってきた再生可能エネルギーによる発電事業や電力小売事業、省エネルギーサービスなどのノウハウを生かし、フィリピンにおいても幅広く事業を推進します。



パナイ島の発電所



セブ島の発電所

米国のエネルギーサービス会社「Enovity」を買収

米国における専門性をもとに、アジアでエネルギーサービス事業を展開

米国のエネルギーサービス会社「Enovity, Inc. (Enovity)」の株式80%を取得しました。

Enovityは、米国カリフォルニア州を中心に建物のエネルギーサービスを手がけています。全米でも先進的なエネルギーサービス市場であるカリフォルニア州において、官公庁施設や大規模なオフィスビル、商業施設向けに、建物の省エネルギー設計からエネルギー使用状況の自動管理システムの導入、設備の維持管理まで、高い専門性をもとに建物のライフサイクル全てにおけるエネルギーコストの最適化を図るサービスをご提供します。

昨今、米国をはじめグローバルに事業を展開する企業を中心に、将来的なエネルギー価格の上昇への備えや環境負荷低減を目的として、事業活動におけるエネルギー消費量やCO₂排出量の削減目標を策定する企業が増加しています。

今後はアジアなどの生産・事業拠点でも同様の対策が進むと考えられ、オリックスは、海外ネットワークを生かし、Enovityの専門性をもとに米国のみならず、アジアにおける環境エネルギー事業の拡大を図ります。



オフィスビルの地下に設置された発電設備のメンテナンス作業の様子

資源・廃棄物ビジネス

リース事業で培ったノウハウと独自のネットワークを生かし、お客さまに3R*と適正処理のサービスをワンストップでご提供します。

*リデュース (Reduce: 廃棄物の発生抑制)、リユース (Reuse: 再利用)、リサイクル (Recycle: 再資源化) の3つのRの総称。

オリックスグループの3Rと適正処理

リースやレンタルは、必要な機器を必要な期間だけ利用する手段として、リデュースにも寄与するサービスです。オリックスでは、年間約31万件のリース物件が契約期間の満了を迎え、約80%は再リースに、残りは終了となります。オリックス環境は独自の物流ネットワークを活用して全国各地からリース終了物件を回収し、リユース、リサイクルを推進しています*。オリックスグループは、これらのノウハウとネットワークを生かし、廃棄物処理事業およびリサイクル事業を展開しています。

* 2013年3月期のリース終了物件のリユース・リサイクル率は約97%、OA・PC機器については99.9%。



廃棄物 高度処理施設 (ガス化改質炉)

オリックス資源循環株式会社

国内最大級の処理能力を有し、廃棄物を完全再資源化

埼玉県寄居町において、ゼロエミッション*施設を埼玉県とのPFI事業として運営しています。最先端の熱分解ガス化改質方式を採用しており、廃棄物を約2,000°Cで熔融し、完全に再資源化できることが最大の特長です。再資源化物質として、スラグやメタルなどを回収するほか、精製合成ガスを敷地内の発電施設で高効率発電の燃料として利用しています。ダイオキシンは、法令規制値の10分の1以下を自主規制値として定め、発生を極限まで抑制しています。処理能力は、民間施設として国内最大級の日量450トンで、工場や事業所から排出される産業廃棄物に加え、多くの自治体から家庭ごみなどの一般廃棄物の処理を任されています。

* 廃棄物を原材料などとして全て有効活用することで、不要な排出物を一切出さないこと。



廃棄物を熔融する高温反応炉



広域リサイクルシステム

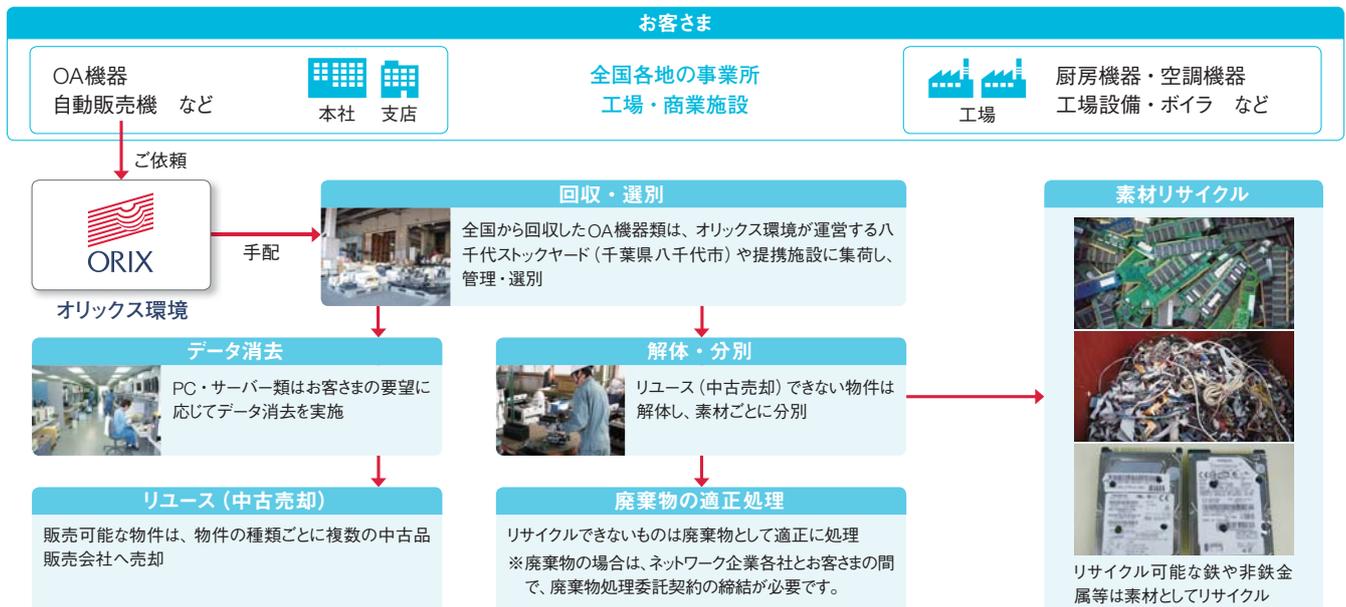
オリックス環境株式会社

不用物の処理を日本全国でサポートするネットワーク

不用物の回収やリユース、リサイクル、適正処理を、日本全国で複合的にサポートするネットワークを構築し、「広域リサイクルシステム」としてご提供します。処理会社の選定や配車手配、売却時の価格査定やコスト削減提案、適正処理に関する事務作業を一元管理し、全国均一のクオリティで回収、リサイクル、不適正処理の防止に努め、全国に拠点を構えるお客さまの不用物の処理をサポートします。

また、廃OA機器や機械類からは、金属系廃棄物中間処理施設（船橋工場）で培った金属資源価値の目利き力を生かして、有用な金属資源を回収し、金属リサイクルビジネスを展開しています。全国から回収した鉄や非鉄金属を素材として、再資源化市場へ提供する金属商社や金属加工業としての役割も担っています。

不用物の回収・リユース・リサイクル・適正処理フロー



金属系廃棄物処理施設

オリックス環境株式会社

OA機器・機械類など金属系廃棄物を中心に取り扱う中間処理施設

千葉県船橋市にて、金属系廃棄物中間処理施設（船橋工場）を運営しています。関東一円から排出される機械類などの金属混合物の回収、保管、一次加工、再生品（素材）化までを一貫して行い、品質の高い金属素材を選別することで高付加価値化を進めています。また、選別・破碎・圧縮処理に加え、2014年には処理能力の高いシュレッダー機の稼動も予定しており、さらに高度な金属加工ができるプラントを目指します。



金属屑を圧縮するプレス機



OA機器ヤード

その他エコサービス

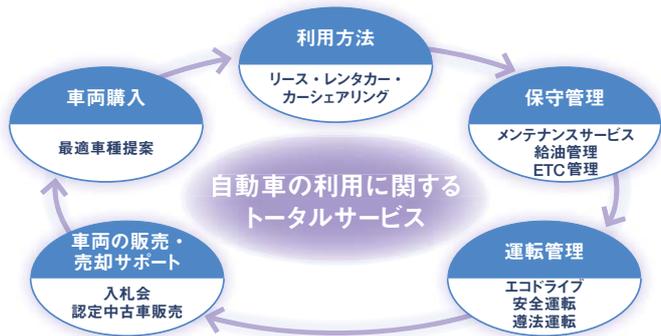
オリックスグループの専門性を生かし、さまざまなエコサービスを通じてお客さまのニーズにお応えします。

自動車の環境配慮型トータルサービス

オリックス自動車株式会社

車両管理台数100万台*と自動車リース業界No.1*の実績を誇り、お客さまの利用形態に合わせて、リース、レンタカー、カーシェアリングを組み合わせることで、最も合理的な車両の利用方法をご提案します。また、自動車には欠かせないメンテナンスサービスからエコドライブを推進するテレマティクスサービスや車両の処分に至るまで、クルマのライフサイクルの各時点で環境負荷低減やCO₂排出量の削減、環境意識の醸成に役立つサービスを総合的にご提供します。

* 2013年3月31日時点



オリックスレンタカー那覇空港店

レンタカー・カーシェアリング (EV・HV)

レンタカーやカーシェアリング車両として、全国で124台*のEV (電気自動車) と3,219台*のHV (ハイブリッドカー) をご提供します。また、一部の店舗では電動アシスト付き自転車のレンタサイクル事業「eチャリ」も展開しています。

* 2013年3月31日時点

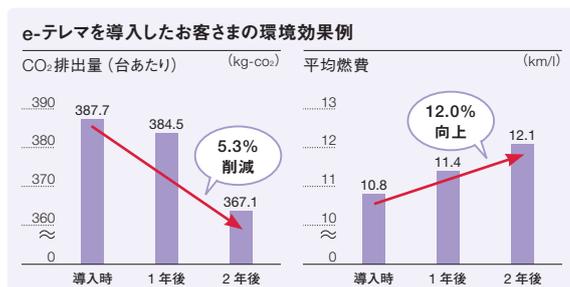


メンテナンスサービス

定期点検時に、適正なオイル交換・補充やタイヤの空気圧チェックを実施することで、燃費向上やCO₂排出量の削減に貢献します。また、故障修理時の部品交換の際、再生部品の活用を推進することで、省資源化に努めています。

テレマティクスサービス「e-テレマ」

「コンプライアンス」「環境」「安全」に配慮したコンサルティングサービスです。お客さまの車両に専用の車載器を搭載し、運行状況を可視化。運用方法から効果検証までのコンサルティングを実施することで、最適な車両使用から適切な労務管理、事故の未然防止やCO₂排出量の削減までをトータルにサポートします。



中古車リース・販売

リースおよびレンタル終了車両のなかから、独自の厳しい認定基準を満たした車両のみを「オリックス認定中古車」として販売しています。全国9カ所のオリックスU-car店舗およびインターネットにより、安心の中古車をリーズナブルな価格でお届けします。

また、より手軽に中古車をお求めいただけるよう、月々の支払額とボディタイプからお選びいただく「ワンプライス中古車リース」をご提供します。



オリックス認定中古車



再生可能エネルギー 関連機器の 試験受託サービス

オリックス・レンテック株式会社

神戸試験センターでは、太陽光パネルの性能評価や信頼性試験、蓄電池の充放電試験など、再生可能エネルギーに関連する製品や部品の試験受託サービスを行います。また、機器と合わせて試験スペースを一定期間ご提供することも可能で、お客さまは情報セキュリティが施された空間で安心して試験・検査を行うことができます。



充放電試験装置

X線観察装置

環境関連 機器の レンタル

オリックス・レンテック株式会社

災害時などの非常用電源として利用できる発電機や移動式蓄電池を最短1日からレンタルしています。また、全国の自治体向けに大気中の微小粒子物質 (PM2.5) の測定器を、食品 (加工) 会社や食品流通会社向けには放射能測定装置を取り揃え、レンタルサービスを通じてお客さまの環境測定業務を支援します。



測定器 (PM2.5)



食品放射性物質汚染検査機器

レンタル機器 販売・中古 機器買取

オリックス・レンテック株式会社

メンテナンスを施した良質なレンタル機器をお客さまへ直接販売するほか、中古品販売会社向けの定期的なオークション開催、さらに店舗およびインターネットの活用など、幅広いネットワークで販売します。また、お客さまの不用になった機器を査定し、買い取るサービスもご提供します。

環境配慮型 融資の 保証

オリックス株式会社

地域金融機関向けに環境配慮型融資の保証を行います。オリックスが独自に制定した環境配慮ランクに応じて、地域金融機関が融資条件を優遇することで、企業の環境意識の醸成や環境活動をサポートします。

グリーン 電力証書 の販売

オリックス株式会社

吾妻バイオパワーが発行するグリーン電力証書のロゴマーク

木質チップをバイオマス燃料とする吾妻木質バイオマス発電所 (P.07) で発電・証書化されたグリーン電力証書を販売します。



カーボン・オフ セット／カー ボン・クレジット

オリックス株式会社

オリックスがご提供するカーボン・オフセットのロゴマーク

カーボン・オフセットのプロバイダーとして、お客さまがオフセット商品を開発する際のご提案からCO₂排出量の算定、クレジット (排出権) の調達・管理、オフセット証書の発行などをサポートします。また、各種排出権をカーボン・クレジットとして販売します。



低炭素機器導入サポート (エコリース)

オリックス株式会社

環境省は、低炭素機器をリースで導入する中小企業などを対象にリース料総額の3%または5%を補助する「平成25年度家庭・事業者向けエコリース促進事業」を実施しています (岩手県・宮城県・福島県については10%を補助)。オリックスは、指定リース事業者の1社としてお客さまの設備導入をサポートします。

環境配慮型不動産事業

環境性能の高い住まい・オフィス・商業施設・物流施設などの不動産開発を行うほか、ゴルフ場、ホテルなどの運営施設における環境負荷低減に取り組んでいます。建物の省エネルギー化やCO₂排出量の削減を図るとともに、循環型社会、自然共生社会の構築をサポートします。

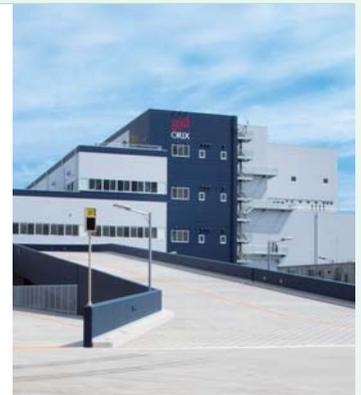
物流施設

～環境配慮型ロジスティクスセンター～

多くの企業が環境負荷低減の課題を抱えるなか、テナントとして物流施設に入居する企業からの省エネルギー対応のニーズは、ますます高まっています。オリックス不動産は、太陽光発電システムの導入や外構緑化などに取り組み、環境配慮を掲げる企業のご要望にお応えします。

2013年に竣工した「所沢ロジスティクスセンター」「岩槻ロジスティクスセンター」「川越IIロジスティクスセンター」「犬山ロジスティクスセンター」は、いずれも「CASBEE*」A評価を取得しています。

* 建築環境総合性能評価システムのことで、建築物の環境性能を客観的にランクづけするシステム。



「岩槻ロジスティクスセンター」
（「CASBEE埼玉県」A評価を取得）

オフィスビル

～環境負荷低減技術を採用したオフィスビル～

オリックスグループの大阪本社ビル「オリックス本町ビル」（大阪府大阪市）では、旧建物の躯体の再利用をはじめ、さまざまな環境配慮を行っています。外構部や屋上での高木緑化、太陽光発電システムや高効率でメンテナンス性にも優れたヒートポンプ式ビルマルチエアコン、LEDなどの長寿命照明を採用。自然光の利用や水資源の再利用、BEMSなど、建築段階から省エネ・省CO₂に貢献する環境負荷低減技術を採用し、「CASBEE大阪」S認証（最高ランク）を取得しました。さらに「CASBEE大阪 OF THE YEAR 2011」を受賞しました。また、一部の技術は環境省の「クールシティ中核街区パイロット事業」にも認定されています。



「オリックス本町ビル」
（「CASBEE大阪」S認証を取得）

マンション

～太陽光発電システム、電力一括購入サービス採用マンション～

「サンクタス与野」（埼玉県さいたま市）は、敷地内の随所に壁面緑化を採用しています。また、屋上部に太陽光発電システムを設置して発電を行うとともに、電力一括購入サービス（P.08）を取り入れ、経済性と環境性能を備えました。そのほか、各住戸の外部に面する全ての窓に高性能の断熱ガラスを採用するなど住宅性能評価の「省エネルギー対策等級4」（最高等級）となる高断熱・高气密仕様を実現しました。



「サンクタス与野」の壁面緑化（「CASBEEさいたま」A評価を取得）完成イメージ

水族館（新江ノ島水族館、京都水族館、すみだ水族館）

オリックス不動産は、2004年より神奈川県とのPFI事業として新江ノ島水族館*の運営に携わっており、2012年には直営の京都水族館、すみだ水族館をオープンしました。レジャースポットとして街づくりに貢献するだけでなく、施設、事業運営そのものにもさまざまな環境配慮を行いながら、エデュケーション（教育）とエンターテインメント（娯楽）を融合させた「エデュテインメント型的水族館」として、お客さまに環境学習の場をご提供します。



* オリックスグループならびに株式会社江ノ島マリンコーポレーションなどによる共同事業。



人工海水を利用した京都水族館の大水槽



オリックス劇場

旧大阪厚生年金会館を、伝統的な建物外観を保存しながら多目的ホールとしてリノベーションしました。また、太陽光発電システムも採用しています。



京セラドーム大阪

雨水を再利用し、トイレや植栽澆水に使用しています。また、海風を利用し、アリーナの自然換気を行う自然換気方式を採用しています。



ゴルフ場

環境負荷の少ない運営を目指し、空調・給湯設備やナイター設備の更新、照明のLED化など、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。また、ゴルフ場で採取される刈芝の堆肥化を行い、場内の植栽などに利用するほか、「ディアレイク・カントリー倶楽部」(栃木県鹿沼市)では遊休地を活用し、メガソーラーを建設しています。



オリックスグループのエコ活動

■ 沖縄サンゴ礁再生プロジェクト SANGO ORIX

サンゴ礁が持つ高い生物多様性の保持能力を守り、美しい海を次世代へ残すため、オリックス不動産は、2008年に沖縄サンゴ礁再生プロジェクト「SANGO ORIX」を開始しました。現在も、沖縄県の海域でサンゴの移植活動を行っています。

有限会社海の種および沖縄開発株式会社と連携し、サンゴ礁の成長状況などの確認調査を含めた保全・再生活動を続け、2013年7月までに6,800本のサンゴを移植しました。合計で10,000本の移植を予定しています。

また、オリックス・ゴルフ・マネジメントは、運営する全施設で、お客さまからの募金と不用になったゴルフボールやロストボールを回収し、リサイクルした資金をもとに「SANGO ORIX」に参加しています。



オリックス自動車も、沖縄旅行の予約サイト「沖縄ツアーランド」を運営する株式会社パムと共同で、予約サイトからハイブリッドカーをご利用いただいた場合、その売上の一部を寄付し、「SANGO ORIX」に参加しています。



サンゴの移植風景

さらに、公益財団法人オリックス財団は、2013年3月に沖縄県浦添市においてサンゴ礁再生・児童体験プログラムを実施しました。沖縄県下の養護施設の児童46名をご招待し、「サンゴ礁って何だろう？サンゴ礁の再生活動に参加してみよう」をテーマに、移植用のサンゴ苗作り体験を通じて、沖縄のサンゴの大切さについて学びました。

■ えのすいECO

「新江ノ島水族館」(神奈川県藤沢市)は、生物に関する生態学(エコロジー)と環境を考える活動(エコアクション)の2つの側面から独自の環境活動「えのすいECO」に取り組んでいます。相模湾の生物や環境の多様性を伝える展示のほか、磯の生物やクラゲを観察・調査する体験プログラムなど、生物

の生態を楽しく学べる場をご提供しています。また、毎月第三日曜日には「えのすいECOデー」を開催し、ビーチクリーン活動やECOキャップ回収運動などを実施しています。



「えのすいECOデー」で実施しているビーチクリーン活動

■ ホテルの食品リサイクル

「杉乃井ホテル」(大分県別府市)や「ブルーリッジホテル」(兵庫県豊岡市)では、食品リサイクルを行っています。ホテルから出る食品残渣を地元提携企業が回収・堆肥化し、その堆肥を使用して農産物を生産します。ホテルはそれらを購入することにより食品残渣のリサイクル率向上を図っています。





ほかにはないアンサーを。

オリックスグループには、時代や人が変わっても確実に受け継がれていくものがあります。その一つが“どうしたらできるかを考える”姿勢。お客さまのご要望にお応えするために、最後まで考え抜き、新しい《こたえ》を生み出そうとする姿勢です。

この姿勢を「ほかにはないアンサーを。」という言葉に託し、オリックスグループのブランドスローガンとしてすべてのお客さまに宣言しています。

本冊子に関するお問い合わせ先

オリックス株式会社 グループ広報部
〒105-6135
東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル
TEL 03-3435-3167
HP <http://www.orix.co.jp>

